

大型軽量作業台 AEH型

この度は、ユニオンスチール大型軽量作業台AEH型をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品は組み立てやすいシンプルな構造ながら、ゆとりのある大型サイズの天板をもった作業台です。オプションの下棚を付けることにより、作業台下の空間を有効活用いただけます。また、色合いは目に優しいグリーン色で大型製品や長尺物の組立・梱包作業用さらには流れ作業用として、工場・学校・作業所などで永くご使用いただけます。

均等静止荷重 300kg

※均等静止荷重とは、天板の表面に荷重を均一にかけた場合に耐えられる重さの合計量を言います。
※表示荷重内であっても、一部に集中荷重をかけないで下さい。

安全上のご注意

必ずお守り下さい

●本製品を第三者に譲渡、貸し出しする場合、必ずこの説明書を添えてお渡し下さい。
※この取扱説明書は紛失しないよう、大切に保管して下さい。

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を説明しています。

■ 表示荷重以上の荷重をかけないで下さい。

作業台が破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。

■ 側面や正面から大きな力をかけないで下さい。

作業台が破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。

■ キャスター付の使用時は、“キャスターの耐荷重”“作業台の耐荷重× $\frac{1}{2}$ ”のどちらか小さい方の荷重以下で使用して下さい。

■ 不安定な場所に設置しないで下さい。

作業台が転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。

■ キャスター付での移動時は、天板の上に物を置いたり、作業したりせず、運搬にも使用しないで下さい。

作業台が転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。

■ 下棚(オプション)に足をかけたり、上に乗ったりしないで下さい。

下棚が破損・変形し、怪我をする恐れがあります。



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■ 屋外や水のかかる場所に設置せず、また濡れた物を置かないで下さい。

作業台にサビが発生しやすくなり、強度等、品質が著しく低下する恐れがあります。

■ 組み立ては、この組立・取扱説明書に記載の組立手順に従って下さい。

手順を誤ると、組立中に部品が外れたり倒れたりして、怪我をする恐れがあります。

■ 表示荷重内であっても、一部に集中荷重をかけないで下さい。

■ 天板面は必ず水平になるよう、アジャスターを調節してご使用下さい。

傾いていると作業台が転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。

■ 下棚(オプション)の端面を素手で触らないで下さい。

鋭利な部分に触れて、怪我をする恐れがあります。

■ 作業台の切断、改造をしないで下さい。

作業台が不安定になり危険です。また、切断面のバリ等で怪我をする恐れがあります。

■ 化学薬品や薬物を扱う作業には使用しないで下さい。

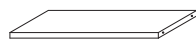
腐食・変質などにより、作業台の品質が著しく低下し、作業者の健康を害する恐れがあります。

AEHLT型 オプション下棚取付方法

組み立てる前に梱包内容がすべて揃っているか、ご確認ください。※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組立てて下さい。

※作業台と一緒に下棚を購入された場合は、裏面「AEH型組立説明図」の5の工程で、下記2を参照して下横棧①の代わりに下棚①を取り付けて下さい。

部品明細(2梱包)



①下棚…1枚



②トラスネジ…4本 (M6×15)

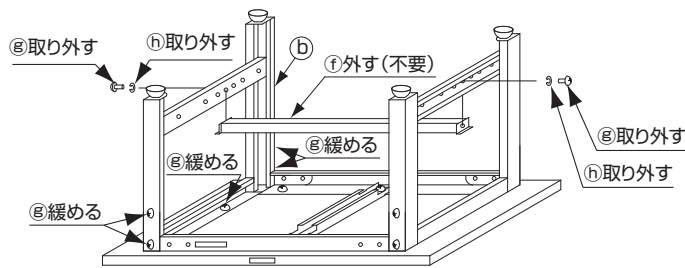


③SW…4個 (スプリングワッシャー)

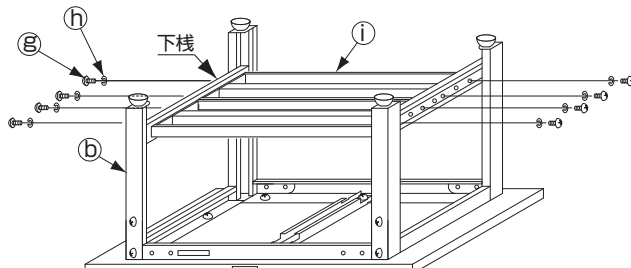
必要工具



プラスドライバー



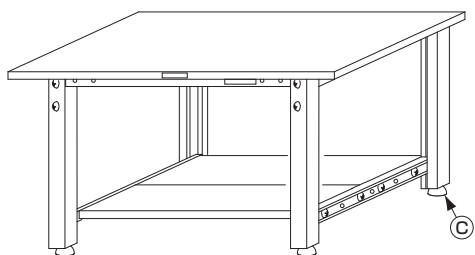
図はAEH-1800LT



1 作業台を逆さにして、脚⑥に付いているトラスネジ②を緩め(左右各5カ所)、下横棧①のトラスネジ②とSW③を取り外し(左右各1カ所)、下横棧①を外して下さい(下横棧①は不要)。

2 左右の脚⑥を開き加減にし、下棚①と脚⑥の下横棧の穴を合わせ、トラスネジ②とSW③で仮止めて下さい(左右各2カ所)。もう1枚の下棚①も同様に取り付けて下さい。

3 緩めたトラスネジ②と仮止めたトラスネジ②全てを、プラスドライバーでしっかり締め付けて下さい。



4 作業台を起し、任意の場所に設置して、アジャスター④で水平調節を行い、脚4本が床面に接地しているのを確認してからご使用下さい。

仕様

耐荷重(均等静止荷重) **20kg**

| 下棚 | 間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm | 色 |
|------------|---------------------|------|
| AEHLT-1800 | 1610×450×30 | グリーン |
| AEHLT-2400 | 2120×450×30 | グリーン |

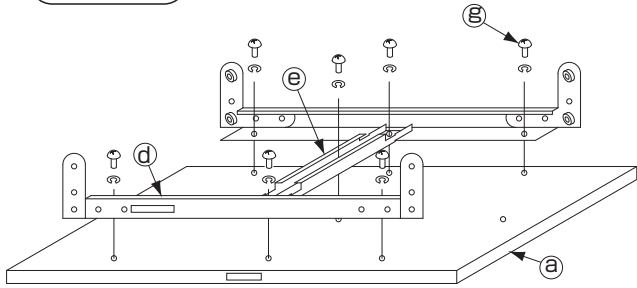
AEH型 大型軽量作業台 組立説明図

組み立てる前に梱包内容がすべて揃っているか、ご確認ください。※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組立して下さい。

| 部品明細 | | ※数 | | | 必要工具 | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|-----------------------------|----------------|------------------------------|--|------|-----------------|----|--|--|---|---|---|----------|---|----|----|----------|---|----|
| <p>Ⓐ天板…1枚</p> | <p>Ⓑ脚…2本 (Ⓒアジャスター付)</p> | <p>Ⓓ上横棧…2本</p> | <p>Ⓔ下横棧…1本</p> | <p>ⒽSW…別表 (スプリングワッシャー)</p> | | <p>プラスドライバー</p> | | | | | | | | | | | | | |
| | | <p>Ⓔ天補強…別表</p> | <p>Ⓖトラスネジ…別表 (M6×15)</p> | <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品番</th> <th colspan="3">入数</th> </tr> <tr> <th>Ⓔ</th> <th>Ⓖ</th> <th>Ⓗ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AEH-1800</td> <td>1</td> <td>19</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>AEH-2400</td> <td>2</td> <td>22</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> | 品番 | | 入数 | | | Ⓔ | Ⓖ | Ⓗ | AEH-1800 | 1 | 19 | 19 | AEH-2400 | 2 | 22 |
| 品番 | 入数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Ⓔ | Ⓖ | Ⓗ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| AEH-1800 | 1 | 19 | 19 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| AEH-2400 | 2 | 22 | 22 | | | | | | | | | | | | | | | | |

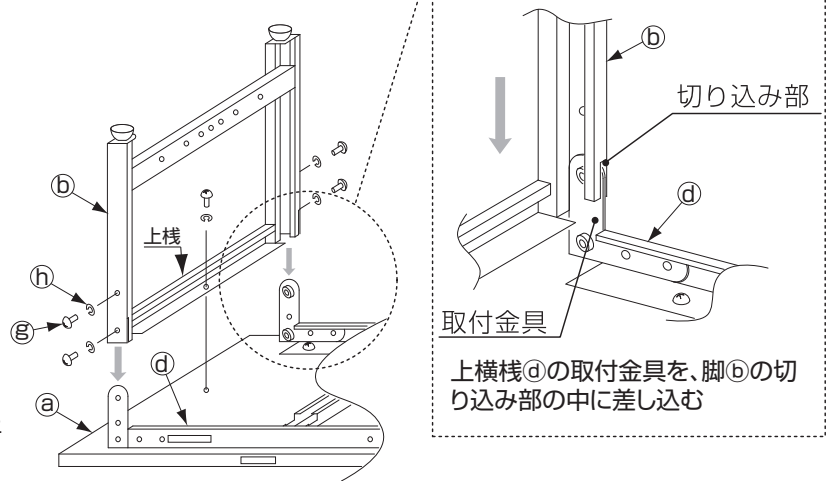
組立順序



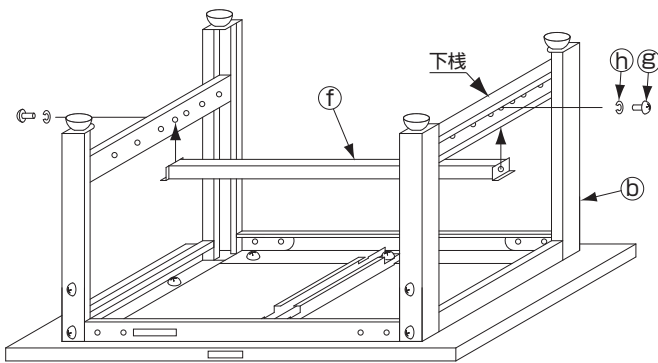
図はAEH-1800

- 1 天板Ⓐの裏面(埋込ナット有)を上に向けて置いて下さい。
- 2 上横棧Ⓓの穴を天板Ⓐの埋込ナットに合わせ、さらに上横棧Ⓓの上
に天補強Ⓔを天板Ⓐの埋込ナットに合わせて置き(AEH-1800は
1本、AEH-2400は2本)、トラスネジⒼとSWⒽで仮止めて下
さい(AEH-1800は7カ所、AEH-2400は10カ所)。

図-1 拡大図



- 3 図-1のように上横棧Ⓓの取付金具を、脚Ⓑの切り込み部の中に差し込み、
外からトラスネジⒼとSWⒽで仮止めて下さい(4カ所)。もう1本の脚Ⓑ
も同様に取付けて下さい。
- 4 脚Ⓑの上棧の穴を、天板Ⓐの埋込ナットに合わせ、トラスネジⒼとSWⒽ
で仮止めて下さい(左右各1カ所)。



- 5 下横棧Ⓔの穴を、脚Ⓑの下棧の任意の穴に合わせ(図では中央に取付)、
外からトラスネジⒼとSWⒽで仮止めて下さい(左右各1カ所)。
※下棚①を取り付ける場合は、5の工程は行わず、表面「下棚取付方法」
の2を参照して、下棚①(2枚)を取り付けて下さい。
- 6 仮止めた全てのトラスネジⒼを、プラスドライバーでしっかり締め付け
て下さい。
- 7 作業台を起し、任意の場所に設置して、アジャスターⒸで水平調
節を行い、脚4本が床面に接地しているのを確認してからご使用
下さい。

AEH2105

仕様

耐荷重 (均等静止荷重) **300kg**

| 25mmダブ化粧天板 | 間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm | 色 |
|------------|---------------------|------|
| AEH-1800 | 1800×1200×740 | グリーン |
| AEH-2400 | 2400×1200×740 | グリーン |

| 25mmダブ化粧天板 | 間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm | 色 | 備考 |
|------------|---------------------|------|-------|
| AEH-1800LT | 1800×1200×740 | グリーン | 下棚2枚付 |
| AEH-2400LT | 2400×1200×740 | グリーン | 下棚2枚付 |

製造元 **ユニオンスチール株式会社**
〒584-0022 富田林市中野町東2-5-36

電話 (0721)25-4603 番(代)
<http://www.unionsteel.co.jp>

日本製

作業台用引出し(AEH型に取付)

この度は、ユニオンスチール作業台用引出しをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品は付属の吊金具を用いることにより、AEH型作業台へ簡単に取り付ける事が出来ます。また、左右にスライドさせることが出来る為、作業環境や作業工程、作業者の好み等に応じて、使い勝手の良い位置にセットし、ご利用できるオプションとして未永くご使用いただけます。

適応機種 ●F-1●F-2●FL-1●FL-2●UDC-001●UDC-002●UDK-001W●UDK-002W

安全上のご注意 必ずお守り下さい。

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

■傾いた状態で作業台に取り付け ないで下さい。

傾いた状態で取り付けますと、引出しが勝手に開いたり閉まったりして、怪我をする恐れがあります。

■引出しに足をかけたり、本体の上 に乗ったりしないで下さい。

引出しが破損・変形し、怪我をする恐れがあります。

■用途以外には使用しない で下さい。

用途以外に使用しますと、怪我の原因になります。

■側面や正面から大きな力をかけ ないで下さい。

引出しが破損・変形し、怪我をする恐れがあります。

■一度に複数の引出しを引き出さ ないで下さい。

重心が偏り、作業台ごと転倒して破損・変形し、怪我をする恐れがあります。



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■屋外や水のかかる場所に設置せ ず、また濡れた物を置かないで 下さい。

引出しにサビが発生しやすくなり、強度等、品質が著しく低下する恐れがあります。

■一部に集中荷重をかけないで下 さい。

■引出しの切断、改造をしないで 下さい。

引出しが不安定になり危険です。また、切断面のバリ等で怪我をする恐れがあります。

■化学薬品や薬物を扱う作業に は使用しないで下さい。

腐食・変質などにより、引出しの品質が著しく低下し、作業者の健康を害する恐れがあります。

■組み立ては、この組立・取扱説明 書に記載の組立手順に従って下 さい。

手順を誤ると、組立中に部品が外れたり、作業台を起こした際に落下して、怪我をする恐れがあります。

■引出しの底面・内側を素手で 触らないで下さい。

鋭利な部分に触れて、怪我をする恐れがあります。

■引出しの角に足などをぶつけ ないようにして下さい。

引出しが破損・変形したり、怪我をする恐れがあります。

●本製品を第三者に譲渡、貸し出しする場合、必ずこの説明書を添えてお渡してください。
※この取扱い説明書は、紛失しないよう、大切に保管してください。

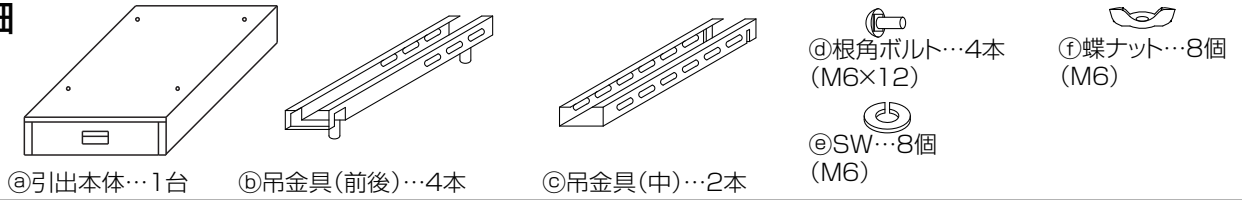
AEH型に引出しの取付方法

適応機種 ●F-1 ●F-2 ●FL-1 ●FL-2 ●UDC-001 ●UDC-002 ●UDK-001W ●UDK-002W

組み立てる前に梱包内容が全て揃っているか、ご確認ください。※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

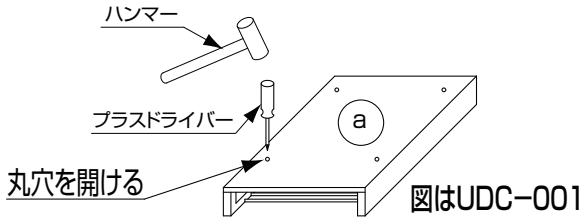
※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組み立てて下さい。

部品明細

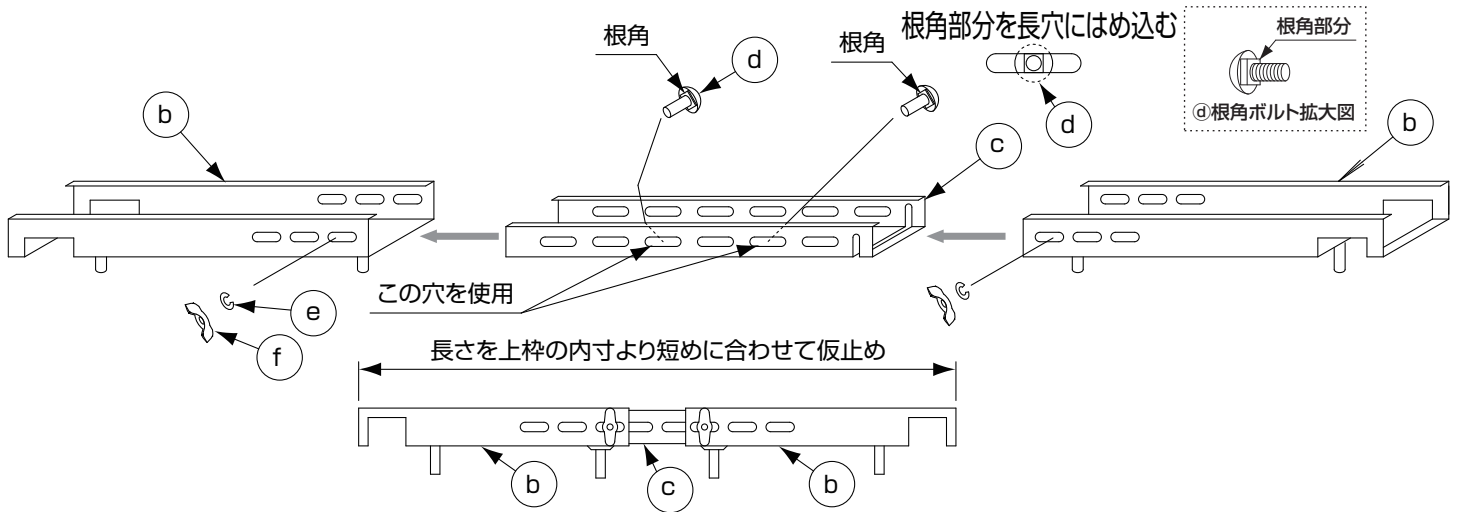


組立順序

※AEH型に取り付けた場合、引出しは固定せず左右に動きます。

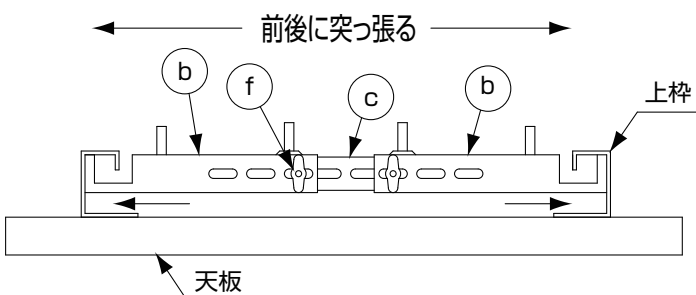


- 1 引出本体①から引出を抜いて、引出本体①の上面の半抜き穴にプラスチックドライバーを当て、ハンマー等で叩いて丸穴を開けて下さい(4カ所)。※最初から丸穴が開いている場合は、この作業は必要ありません。

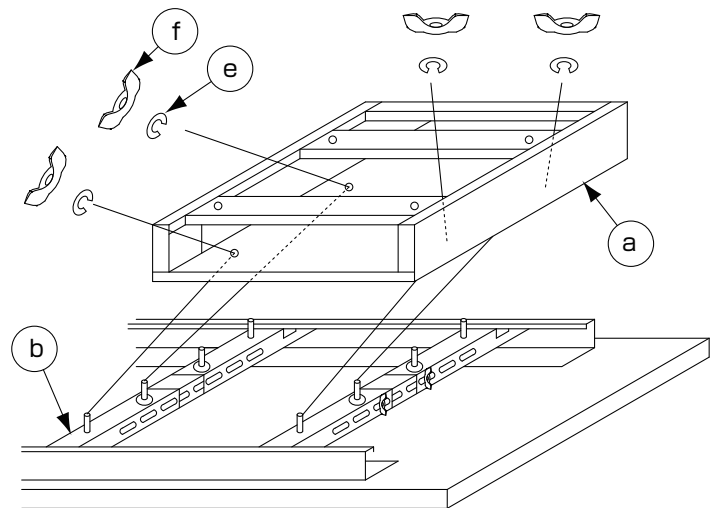


- 2 吊金具(前後)②と吊金具(中)③を図のように差し込み、側面の長穴の内側から根角ボルト④を差し込み、(根角部分を長穴にはめ込む)、外側からSW⑥と蝶ナット⑤で仮止めして下さい(1カ所)。

さらに吊金具(前後)②を図のように差し込み、3本の長さを作業台の上枠の内寸より短めに合わせて、同様に仮止めして下さい(1カ所)。もう一組も同じ要領で組み立てて下さい。



- 3 作業台を逆さにした状態で、2で組み立てた吊金具を図のように作業台の上枠に引っ掛け(引出取付付近)、吊金具を前後に突っ張り、仮止めした蝶ナット⑤をしっかり締め付けて下さい(4カ所)。もう一本の吊金具も、引出本体①の上面の穴のピッチに合わせて、同様に取付けて下さい。



- 4 吊金具(前後)②のボルト(左右各2カ所)に、1で開けた引出本体①の上面の丸穴を差し込み、SW⑥と蝶ナット⑤をしっかり締め付けて下さい(4カ所)。

製造元

ユニオンスチール株式会社
〒584-0022 富田林市中野町東2-5-36

電話 (0721)25-4603 番(代)
http://www.unionsteel.co.jp

日本製